

すべての女性が輝く明日のために

# JAUW会報

第259号  
2016年11月  
70周年記念特集



一般社団法人  
大学女性協会



鷺見新会長・  
梅田企画委員長あいさつ…… 2

記念講演要旨・  
記念コンサート報告…………… 3

DVD「JAUW のあゆみ」… 4~5

GWI ケープタウン世界大会  
会長あいさつ・CIR 報告…… 6

大会参加者から…………… 7

大会決議…………… 8

支部だより 北から南から  
東京／福井支部…………… 9

祝賀会風景・  
40年以上在籍の会員のみなさま… 10

新規事業・収益事業報告…… 11

お知らせのページ…………… 12



天達文字第3代会長・JACAをJAUWに改称



1949年 会報第1号

# JAUW 創立70周年を記念して

日時：2016年11月12日(土)～13日(日) 場所：グランドプリンスホテル新高輪・イイノホール

〈203050〉を目指して新しい一歩を！ 会長 鷺見八重子



おだやかな小春日和の11月12日(土)、大学女性協会は創立70周年記念祝賀会を滞りなく終えることが出来ました。9月3日付けで会長に就任した直後の大きな行事に身が引き締まる思いでしたが、理事・監事の方々をはじめ会員の皆様の熱い思いと多大なご尽力により素晴らしい会となり心から御礼を

申し上げます。今後とも皆様と力を合わせて活動してまいりたいと覚悟を新たにしております。どうぞ変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当協会は創立以来、高等教育を受けた女性たちがその学びを社会に還元するとの使命のもと、「女性の高等教育の促進」と「男女共同参画の推進」、さらに「国際協力と世界平和」を目指して活動してまいりました。この3本の柱「女性・平等・平和」は今、世界の喫緊の課題であり、2015年秋に国連が採択した「持続可能な開発目標」(SDGs)と呼応しています。特に「質の高い教育」(目標4)と「女性のエンパワーメントとジェンダー平等」(目標5)は、私たちの2016・17年度のテーマ「女性の自立」と深く関連しています。

女性を取り巻く環境は楽観を許さない昨今ですが、さいわい志の高い女性たちが全国25支部で活動するJAUWとしては、会員の皆様の知恵と経験を集めることにより様々な問題に解決の糸口を見いだせるはずです。〈203050〉すなわち2030年までにあらゆる分野の男女比を50・50にしよう。〈HeForShe〉すなわち男性を巻き込んで意識改革を進めよう。こうした国連のキャンペーンを追い風にして、私たちもUN Womenの理念「誰ひとり取り残さない」社会の実現に向けて協働してまいりましょう。

皆様、どうぞよろしく願い申し上げます。

企画委員長あいさつ

副会長 梅田 和子



大学女性協会創立70周年の記念事業へ、多くみなさまにご参加いただき、誠に有難うございました。

70年の歴史・先輩方の歩まれた道を「JAUWのあゆみ」と題し、DVDに残すべく、制作委員会を立ち上げました。

1946年からの歴史を読みときながら、戦後の貧しい時代に女性の地位向上のため、先輩方の国際感覚あふれる広い視野と後輩の女子学生への支援の思いを強く感じました。

そのDVDを会員のみなさまと一緒に見ることができ、思いを共有できたことは嬉しいことでした。

記念事業当日の公開記念講演は「不思議なクニの憲法」の松井久子監督に一昨年から続けている「女性の自立とは？」のテーマのもと「自立して生きるとは？一女性として、監督として一」と題してお話いただきました。松井監督は常に社会と向き合い、今の時代への問いかけ、老人介護、日本のフェミニズムの歴史、憲法論議など私達に身近な問題を取りあげられています。講演の中で「夢をあきらめない・夢はかなう」と言われた「ことば」が印象に残りました。自分の思った作品に仕上げるため、監督の道を選ばれ、信念を持って、頑張られる姿は私たちJAUW会員への励ましと思えました。

講演に先立ち、来賓挨拶は外務省女性・人権人道担当特命全権大使である西村篤子氏にお願いしました。

またDVD上映後、第15回守田科学研究奨励賞受賞者の大矢根綾子氏に会員を代表し、挨拶していただきました。

祝賀会では1987年国内奨学金受賞者の矢口有乃氏に会員代表の挨拶をしていただきました。

祝賀会には男女共同参画局の武川恵子局長を始め、他女性団体からも多数ご臨席を賜りました。御礼申し上げます。

## 「創立70周年記念募金」

神戸の第5回定時会員総会における2016年度事業計画報告をふまえ、このたび創立70周年を機に、将来の新事業展開に必要な資金調達の一助として募金をスタートする運びとなりました。大学女性協会が新しい事業を携えて更なる社会貢献に寄与し、若い世代と共に、未来に開かれた100周年を迎える事ができますように、皆様のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

目的：将来の新事業（奨学関係、女性の自立・リーダーシップ養成等）のための資金

目標額：1,000万円

募金額：一口5000円

期間：2016年11月12日～2019年3月31日

発起人：一般社団法人大学女性協会 会長 鷺見八重子  
2016年度理事・監事・支部長 一同、2015年度会長・理事・監事一同

振込先

三菱東京UFJ銀行

四谷三丁目支店（店番340）普通預金 口座番号3918298  
一般社団法人 大学女性協会 理事 中村久瑠美

ゆうちょ銀行

口座記号番号 00130-0-587701

口座名称(漢字) 一般社団法人 大学女性協会

口座名称(カナ) シャ ダイガクジョセイキョウカイ

他行からの振り込みの場合の受取口座名

〇一九(ゼロイチキョウ)店(019)当座 0587701

## 公開記念講演会 自立して生きるとは？—女性として、監督として 映画監督 松井久子氏



本日のテーマについて「こうあるべき」というものではなく、私自身の70年の人生、仕事と女性としての個人的体験をお話することでお役に立てればと思います。

女性の地位向上には制度と共に、女性自身の意識の向上が、まさに車の両輪と考えています。そういった意味で、私は多分、大衆といわれる女性たちの意識の向上のために、映画を作ってきたのかなあと感じています。

私の最初のキャリアは、雑誌などにインタビュー記事を書くというフリーのライターの仕事でした。それは、もの書きを目指していた夫との家庭を支えるためでした。女は男に愛され、従い、下から支えて生きるのが幸せなのだ、と刷り込まれて育った私にとっては自然な事でした。しかし、そういった状況は長くは続かず、夫のDVから逃れるために、息子が5歳、私が33歳の時に離婚しました。当時は本当に心細く、古典的な日本女性の美学をもって生きてきた私の遅まきながらの自立の第一歩でした。

その後、俳優のマネージメントをする会社を設立し、約10年続けましたが、仕事で訪れる撮影現場で、監督の世界を皆で作上げていくさまを目の当たりにして、私のしたかったのはこういう仕事ではないか、と思うようになったのです。

ドラマの制作を最初から一手に引き受ける映像の制作会社を設立したのは39歳の時、初めて「やりたかった」との思いで獲得した仕事でした。そのころ女性の製作者はほとんどいなく、私の描く女のドラマが次々と実現し、約10年間で、2時間ドラマ40本を作りました。しかし、視聴率に追われ一夜かぎり花火のように消えてしまうテレビの世界に疑問を感じるようになっていました。

その頃に芥川賞受賞作の小説「寂寥郊野」を読み、それが映画「ユキエ」になったのです。戦争花嫁としてアメリカルイジアナに嫁いだ日本人女性が、アルツハイマーを発症、妻を介護するアメリカ人の夫との夫婦愛を描いたものです。どうしても映画にしたいと思い、3年かかりで資金集めをしました。シナリオをお願いした新藤兼人監督に背中をドンと押され、映画監督に挑戦したのは、ちょうど50歳の時です。その後日本を舞台に、認知症の姑と、介護の苦闘の末に姑を受け入れる嫁を描いた「折梅」を作りました。この作品が大変多くの人に受け入れられ、次作の彫刻家イサム・ノグチの母親を描いた「レオニー」へと繋がったのです。日米合作のこの映画は多大な資金が必要で、企画から公開まで8年の歳月がかかりました。いつも体当たりとチャレンジの体験的フェミニストの人生だったと思っています。

(広報委員会)

## 記念コンサート 行ってきました！ストルツマンさんのコンサート 打楽器奏者・永田砂知子

永田さんは、14年度の新春のつどいで「祇王」の金子あいさんと一緒に波紋音を披露して下さった方。13日のコンサートにクラリネット奏者のご夫君とお出でになり、すぐさまこの感想と祝辞とを鷺見会長に寄せてくださいました。

素晴らしかったです。クラリネットという楽器から変幻自在に多彩な音色を引き出すリチャードさん、マリimbaから打楽器的なアタック音なしに柔らかい響きを引き出すミカさん、クラリネットとマリimbaの木質同士の音が溶け合っただ変心地よいアンサンブルでした。

プログラムもバッハからチック・コリアまで多彩でしたが、武満徹がフルートのために作曲した遺作「Air」をクラリネットで聴けたのは収穫でした。これはリチャードさんに限り許されたことだという。武満さんが演奏者を選ぶ、とは、打楽器奏者の山口恭範さんからもうかがっている。

昨日、家にある膨大な数のクラリネットのCDからリチャードさんのを探し持参。その中の一枚「VISIONS」にサインしてもらいました。この中にある「ライオンキング」を聴いて夫も演奏するようになり、私もピアノで何度か伴奏した

ことがあります。ミカさんのCD「If You Believe」もゲット。もちろんサインもしてもらいました。

リチャード・ストルツマンさん、アンサンブル・タッチなどで昔から憧れのクラリネット奏者でしたが、74歳でまったく衰えを感じない、素晴らしい音色を聴けてよかった〜。夫も私も大満足。

2年前大学女性協会の新春のつどいで「祇王」をやらせていただいたのがきっかけで、昨年、岡山・林原美術館、今年、岡山能舞台で「平家物語」をさせていただいたのです。そして、本日のコンサートが大学女性協会の主催だったとは・・・不思議なめぐり合わせを感じます。

コンサートが盛況のうちを終了しておめでとございます。幸せな時間を過ごすことが出来ました。



## 大学女性協会70周年記念事業プログラム

日時：2016年11月12日（土曜日）

会場：グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール「瑞光」

I部	公開記念講演会	14:00~16:30	司会 梅田和子
	会長挨拶	鷺見八重子	
	来賓祝辞	西村篤子氏 外務省女性・人権人道担当 特命全権大使	
	DVD「JAUWのあゆみ」	DVD制作委員会	
	会員の言葉	大矢根綾子 第15回守田科学研究奨励賞 受賞者（独法）産業技術研究所主任研究員	
	公開記念講演	松井久子氏	
	閉会挨拶	「自立して生きるとは？—女性として、監督として—」	

II部	祝賀会	17:00~19:00	司会 牧島悠美子
	開宴挨拶	会長 鷺見八重子	
	来賓祝辞	武川恵子氏 内閣府男女共同参画局局长	
	祝電の紹介	会員の言葉	
	乾杯	矢口有乃 1987年一般奨学金受賞者・東京 女子医科大学教授・救命救急センター長 名取はにわ氏 日本BPW連合会理事長・ 元内閣府男女共同参画局局长	
	会食・懇談	ご来席者紹介・会員インタビュー・支部紹介	
	閉会の言葉	前会長 中村久瑠美	

# DVD 制作—JAUW のあゆみ—

## 創立70周年を記念して

JAUW は今年創立70周年を迎えました。11月12日の記念祝賀会に、創立以来のあゆみをたどる DVD を見ていただきたいとの梅田和子企画委員長の発案のもと、DVD制作委員会が立ち上がりました。スタートした7月より約4ヶ月間、50年史、会報などを参考に古い写真を甦らせ、何度も映像をやり直し、ナレーションの原稿を作り、試行錯誤を繰り返しながら完成させました。以下、その一部を、主に創立のころに重点を置き、紹介させていただきます。

DVD制作委員会 制作 阿部幸子 鷺見八重子 佐々木澄子 梅田和子 (編集)  
協力 青木怜子 ナレーション 高橋令子

### 創立のころ

**設立目的:** 女性の高等教育を推進、女性の地位向上、世界平和に向けての友好と国際親善

**活動方針:** 女子高等専門学校を女子大学へ昇格する、女性の高等教育助成の奨学金制度の設立、国際大学女性連盟への加盟

**\*会員資格:** 大卒女性 (当初は本協会承認の専門学校生も含む)  
終戦直後の混乱期に新しい時代を生きる女性の高等教育への参加をめざした。

1946年AAUW(アメリカ大卒女性協会)日本支部を発展的に解消し、大学婦人協会JACA(Japanese Association of College Alumnae)設立の結成届を提出。設立発起委員会のもと①教育制度委員会②基準決定委員会③大学婦人協会審査委員会を結成し活動の基盤とした。GHQの女子高等教育顧問 Dr ルル・ホームズが設立に尽力した。発足時の会員数は76名、加盟校は8校。翌年には会員数788名、13支部となり奨学金委員会を設立。1949年には会報第1号発行(表紙写真参照)。1954年度までに共学大学も4校参加し、加盟校は順調に増えた。



1946年設立 JAUW 会長を中心に



ドクター・ルル・ホームズ  
マッカーサー司令官総司令部情報部  
GHQの女子高等教育顧問



1951年稲谷ふし会長を中心に

### 財政基盤の確立

1958年 JAUW 基本金の募集要項発表。目標額1,000万円。会員相互の結束により、3カ年で900万円、10年後の1968年、今井よね氏により50万円が遺贈され、目標額を達成。さらに同氏の遺族から1100万円が寄贈され、財政基盤が確立。



氏家会長・竹内副会長による  
寄附金贈呈の場面



### 奨学金事業

国際(国外)奨学金

1970年 国外から女性研究者1名を招聘

1981年 IFUW 加盟の会員対象の国外奨学金制度を設け、毎年1名ずつ招聘

1987年 大々的な募金活動を行う新規定により1~2名のIFUW 加盟の会員を招聘し、日本での研究を助成。現在は全ての国の女性研究者が対象

守田科学研究奨励賞

1988年 故守田純子氏より女性科学者育成のため遺贈された資金をもとに設立。毎年2名の有望な科学者を表彰

特設奨学金制度

2011年 3・11東日本大震災の被災高校生支援のため設立

JAUW 設立の翌年に発足した国内奨学金事業は、1948年にまず4名の学部学生に奨学金を授与した。1952年にルル・ホームズ氏を記念して奨学金基金を設立し、1971年からは社会福祉奨学生に奨学金を授与、1978年より対象者に大学院生を加えた。1990年、故安井潤氏のご寄付で安井医学奨学金制度を設立した。



1991年国内奨学金授与式



2005年度国際奨学生と



2015年度国内奨学金贈呈式



2015年度国際奨学生と

## 国際会議

- 1970年 日米合同セミナー  
(JAUW初の国際会議・大磯)
- 1974年 第18回 IFUW 総会  
(東京・京都)
- 1979年 IFUW 汎太平洋地域セミナー  
(国立婦人教育会館)
- 1980年 高野フミ氏 IFUW 会長  
(～1983年)
- 1995年 第25回 IFUW 総会  
(横浜)
- 2001年 青木怜子氏 IFUW 会長  
(～2004年)



1974年美智子皇太子妃殿下(当時)ご臨席



1979年



1980年 IFUW パンクーパー総会



2001年 IFUW 横浜総会 祝辞を述べる土井たか子 衆院議長(当時)



JAUWよりIFUWに 平和学研究奨学金贈呈



基調講演は緒方貞子国連 難民高等弁務官(当時)

## セミナー／シンポジウム

文部省の国庫補助事業として1981年～2004年までセミナー開催(通算24回)  
 その後は JAUW 独自の事業として隔年で全国セミナー／シンポジウムを開催。  
 初の全国セミナーのテーマは「80年代を生きる一高齢化社会を迎えて」



現在のテーマは「女性の自立とは？—女性の自立をはばむものは何か—」

## 通常総会

「総会」はJAUWの最高の意思決定の場となる重要な事業として、多数の会員に支えられてきた。第1回通常総会(会長藤田たき)は1947年。1949年度の第3回通常総会(会長天達文子)において JACA を JAUW に改称。1958年度には社団法人化(会長山崎文子)。2012年より一般社団法人へ移行(会長青木怜子)。



1982年第25回奈良総会



1993年第36回熊本総会



一般社団法人大学女性協会 第一回定時会員総会

## 歴代会長

初代藤田会長から中村久瑠美会長まで26代。現在の鷲見会長で27代目となる。歴代会長の写真は会報からの丁寧なバックアップや同窓会、縁故を頼って集められた。

## 支部一覧

発足時に13支部が結成され、その翌年には17支部が加わり30支部に。その後、増減を繰り返し、現在は25支部が活発に活動している。

## 終わりに

この70年の歩みを皆様はどう受け止められたでしょうか。積み重ねられてきた歴史の一つ一つに皆様のご尽力が刻まれております。これからの道のりも JAUW の精神を生かし、新たなる決意をもって、この DVD を終わります。



(写真: JAUW 本部 建物左手1階部分)

編集責任・広報委員会

# 第32回GWIケーブタウン世界大会

日時：2016年8月21日～26日

## GWI 新会長 Geeta Desai あいさつ



GWI 会員の皆様へ。これから3年間、私が理事、職員、委員会とともに、会長としてGWのために何のように実行していく所存であるかを述べ、ご挨拶とさせていただきます。

私ギータ・デサイは、ニューヨーク在住で、GWおよび米国大卒女性連盟の会員であることを誇りに思っております。過去30年に亘り、各種NGOに資金提供する財団の組織開発顧問として仕事をしてきました。その経験を存分に活かし、GW会長として、我々GWの強化に力を尽くします。

現在、執行部は次の構成です。理事会：5名の副会長；事務局長：新任のステイシー・レイラ（Stacy Dry Lara）；事務職員：従来3名；GWの重点事業実施の6委員会。

特に強調したいことは、我々の事業は、次の2つの理解なくしては遂行され得ないということです。その1つは、あくまでも会員による自律的な組織であるということ、そして、何よりもGWおよび加盟各国の協会（NFAs）のミッションが、常に優先されるべき、ということです。この目的のために、次の7項目を行うことを決意します。1) 全てのNFAsの強化を支援。会員の高齢化や、財政問題など、各国のNFAが抱える問題への適切な対処法を提供。2) 各国NFAが実情を踏まえた意義ある事業を展開することを支援。3) 全てのNFAsが国連の基本的合意事項（例えばCEDAWやSDGs）を独自に実行し、明確な成果を上げることを支援。4) NFAs会員が公私ともに世界的視野を持ち地球市民として貢献できるよう情報と機会の提供。5) NFAsの若い世代加入活動を支援し、女性と女兒の権利高揚に資する体制を確立。6) NFAsと国連機関との橋渡しを図り、共創を支援。7) 安定的・実効的・発展的なGW機構の未来像の実現。

理事会と緊密な協働体制の下、全NFAsおよび会員との民主的・包摂的・建設的な対話により諸問題を解決します。従って、運営は透明化し、皆さまの率直なご意見を会長宛て（[president@graduatewomen.org](mailto:president@graduatewomen.org)）にお寄せください。

最後に100周年を目前に、今に続く女性の教育と経済的自立の権利擁護活動を、その優雅さと勇気、特に他の女性たちを支える強烈な使命感で、GWを導かれた歴代の会長の功績に敬意を表します。会員一人一人が、このような先輩方の美德を受け継ぎ、地球上の女性に対する社会的経済的不公正に対して共に立ち向かいましょう。一致こそ力です。

## 大会総括（報告）

CIR 山下いづみ

今回のGW世界大会はおよそ200名の参加でした。基調講演は南アフリカのウィットウォー



タース大学のアダム・ハビブ教授で講演では、「…現在の混沌とした社会情勢の中、それを立て直すべく女性が中心となって動いている。世の中をよくする。社会情勢を変える。このようなことは一体だれがするのか？それは政治家、経済人ではなく、住民ひとりひとりである。高失業率、格差などの解決には今までのやり方（主導）ではなく、その意識を変えていかなくてはいけない…」と話されました。

総会ではベル会長、南アフリカ大学女性協会会長の挨拶、ダニエル事務局長からのGW活動報告、そして、会計報告、理事改選選挙、定款改正案と政策決議案の審議が行われました。決議は可決7、修正&可決3、否決2となりました。（詳細は8ページの記事を参照）

今総会の一番の関心事である年会費値上げについては、審議の後、結果、来年度10スイスフラン値上げ、次年度6スイスフラン、次々年度6スイスフランを上げていくことに決定しました。定款改正と内部決議についての詳細はGWホームページにアップされた後、報告いたします。

総会に参加をして思うことは、各協会ごとにGW加盟の目的と関わり方が違うので、必ずしもJAUWの「値上げ反対」意見が多数ではないということ。そして、決議案に関しては、文言ひとつの直しであっても修正案を提出していくことはGWへの表示として意義があるということです。ギータ会長と新体制となったGWに期待しつつ、JAUWに何ができるのか、活発にJAUW会員間で協議をし、国際組織の一員としてよりよく活動していけるようにしていければと思います。

ランチタイムにアジア地区ミーティングがあり（写真下）、香港、インドの方々とも談笑しました。来年11月は香港大学女性協会60周年記念で日本からの多数の参加を期待しています。



## ID セミナー発表を行って 国際ネットワーク委員長 鈴木千鶴子



会員総会に続き、一般公開会議が少数ながら男性も加わり、約300名の参加で、3日間開催された。全体テーマに「生涯教育を通して女性と女児の自立を」を掲げ、基調講演の後、4つのサブ・テーマ「複雑化する

教育の運営」「新技術の教育への活用と影響」「人権と教育」「暴力と、教育へのアクセス」に分かれて、パネルディスカッション、セミナー、ワークショップ、ポスターセッションのプログラム構成で、約70件の発表とそれに続く議論が展開された。

自分は、「新技術の教育への活用と影響」の学際(Interdisciplinary=ID)セミナーで、“Empowering Japanese Female Students in Teacher Training by their Interacting with Similar Students from Five Countries Worldwide through ICT”を発表し、教師を目指す日本人女子学生が、世界6ヶ国の大学生参加のオンライン協働プロジェクトを通して、高めるべきグローバルコンピテンス、特に批判的・論理的思考力育成の可能性と課題を、実践データに基づき報告した。発表後に、この種のネットワークによる相互研鑽の場をGWI活動にも応用してはどうかとのコメントも会場から寄せられ、ICT(情報コミュニケーション技術)活用研究への期待を感じた。

プログラムを通して、近年のICTの発達に呼応し、本サブ・テーマでの発表は予想以上に多く、ネットいじめをはじめ問題点も提起される一方、GWIとの連携でMsGinkoが運営する「世界の女性たちの語りをビデオ公開」企画が、双方向対話型の機能をウェブ上に組み込むことで、世界の隅々の女性と女児のエンパワメントを図る試みとして紹介されるなど、ICTの潜在力を積極的に利活用する様々な知恵が共有された。また、「ジェンダーに配慮した学習環境モデルの普及—アフリカ5ヶ国での実践」に代表される、国境を越えた活動の紹介も、グローバル化が進行する世界で効果が期待できる事業として、印象づけられた。

結局、共有する問題意識は、「全ての女性・女児への教育機会、で世界を幸せに」の目標に集約され、それに向けた方法は、「連携により、地域、国家、人種を越え繋がって高める個の自立」となり、実践すべきは、“世界の最後の一人まで機会を”に必要な、女児教育における、良質な教育、暴力排除、職能教育、リーダーシップ教育、に尽きよう。



## JAUW 企画旅行・アフリカを肌で感じて 理事 松村 和子

ケープタウン3日間の会議が終わり、24日に私たち8人はヨハネスブルク経由リビングストーン空港(ザンビア)に出発しました。世界3大瀑布のビクトリアフォールズはジンバブエ、明日のサファリ・チョベ国立公園はボツワナ。ダブルビザを空港で申請したので、出国まですごく時間がかかりました。ここでやっとアフリカに来た実感がヒシヒシ、高い建物が無い。その日の15時からビクトリアの滝見学。アフリカだあ！ホテルの周りにホロホロ鳥の群れがトコトコ、イボイノシシがドコドコ歩いています。25日、窓のない大きなジープに乗り国境を越えボツワナのチョベ国立公園にサファリ体験。車の前を通るたくさんの象の群れ、そのあとを追う猿、キリン、鷲。昼からはボートに乗り、水上からワニ、カバ。



私たちが自然に住む動物の世界にお邪魔して見学させていただいているような、お邪魔虫の人間になった気分でした。どこまでも続く大地、何も無いまっすぐな道、アフリカの雄大さを肌で感じました。

## GWI 世界大会に参加して 副会長 牧島悠美子

イスタンブールから3年振りのケープタウン世界大会は、経営方針に反対し退会した西ドイツなども見えず、退会後再入会したオランダの会員は200名弱となってしまった。韓国からは一人も参加がなく、寂しい大会だった。

年会費の値上げに対する協議方法などを見ていると、対案がない限り無視される。一語でも変更などの提案、意見を言うことが大事で、なぜ日本は意見を言わないのかと不思議がられた。今後は小さなことでも良いから、意見を言っていくこと、意思表示することが大切だと思う。

役員を選出もあまり盛り上がりせず、ギータ新会長(GWI-USA)は新顔で、周囲に支持者が見当たらなかった。会長就任後は人が集まりだしたが、ベル前会長のようなやり方はしてほしくない。寄付集めのために名称を変えたにも拘わらず、2倍以上の値上げをする結果になってしまったのは残念の一言に尽きる。

新会長の下、AAUWとも友好関係を取り戻し、次回の世界大会は「会員総会」と「ワークショップを含む一般会議」を2日ずつに短縮するという。手腕に期待したい。

大会決議：政策決議案について

鈴木千鶴子

今後3年間の、GWI および NFAs が取るべき政策と、それに基づく行動計画について、12項目にわたる決議案を大会3日目に審議し、各国に与えられた議決権を行使し評決した。結果は、可決7；修正の上可決3；否決2；であった。なぜ否決、ないしは修正となったかの理由に焦点を当てて、以下報告する。

7つの可決・採択項目：「学校における“いじめ”および“ネットいじめ”」「障がい者への全面補助とバリアフリー環境を」「人権および市民権の侵害としての女性と女兒に対する路上セクハラ」「少数民族と少数派に対する不寛容を終わらせ、世界を寛容に」「女性性器切除（FGM）防止に向けて」「児童婚」「気候変動を減少させるために炭素税を活用」

3つの修正項目：「女性に対する暴力の形態としての一夫多妻制」〈理由〉本制度により女性と子どもの生活が保持される文化・社会が存在するため、問題のある一夫多妻制の場合に限る、とする表現へ。「女性と児童の人身取引」〈理由〉タイトルを「人身取引」と短く端的にすることで、男性をも含む現状を表出し、且つ印象を強める。「GWI ヤングメンバー」〈理由〉“若い人の為に”という‘上から目線’を廃し、若者主導を強調し主体的に役割を担うことを明確にする表現へ。

2つの否決項目：「女性と女兒の隷属の終焉に果たす信仰の役割と責任」〈理由〉宗教・信仰は軽々に論じることは控えるべきで、国家間や民族間で論争の種となる可能性もあることを踏まえて、論考を深めるべき。「未成年妊娠の削減」〈理由〉手段として上げられている「教育」が「避妊教育」を推進する、と捉えられる恐れがある、「人権」教育を基盤とする理論構築と表現の推敲が必要。

可決・採択されたイジメやセクハラに始まり、一部修正された“一夫多妻制”や、否決された“未成年妊娠の削減”などの人権にかかわる世界共通の課題に対して、一目見ただけでは議論の余地がないと思われる政策決議案であったが、個々の議案について交わされた様々な意見交換から、いずれの問題も、世界が納得する本質的な解決のためには、固定概念を改め、より広い知見と深い考察・議論を重ねる必要がある、との認識を深めた。

採決結果

決議1 「学校におけるいじめおよびネットいじめ」

可決

決議2 「障がい者への全面補助とバリアフリー環境を」

可決

決議3 「女性と女兒の隷属の

終焉に果たす信仰の役割と責任」

否決

決議4 「女性に対する暴力の形態としての一夫多妻」

修正の上、可決

決議5 「人権及び市民権の侵害としての

女性と女兒に対する路上セクハラ」

可決

決議6 「少数民族と少数派に対する

不寛容を終わらせ、世界を寛容に」

可決

決議7 「女性性器切除（FGM）防止に向けて」

可決

決議8 「人身取引」

タイトルを左記に修正の上、可決

決議9 「児童婚」

可決

決議10 「気候変動を減少させるために炭素税を活用」

可決

決議11 「GWI ヤングメンバー」

修正の上、可決

決議12 「未成年妊娠の削減」

否決

決議の中の多くは、NFAs において各国政府へ働きかけるべき、とあります。JAUWにおいても、行動に移さなければなりません。

なお、これらの決議およびそれぞれの具体的な行動計画の英文原案は、今年4月末に各国NFAに配布され、JAUWでは国際ネットワーク委員会の有志5名（京都、岡山、長崎支部）で日本語に翻訳し、5月の総会時に開催されたGW I 検討特別会議へ審議資料として提出し、意見を集約してGW I 総会に臨むことができました。



# 支部だより

## 北から～南から

### 皆が参加できる支部活動を 東京支部委員 坂上栄美子

Q 最近の支部の活動は？支部自慢は？

A 東京支部も会員数が250名を切り、他の支部同様、悩みは尽きませんが、今日は自慢話をさせていただきます。一つ目は会員同士の親睦です。支部総会は豪華ホテルで、議事は肅々と、ランチは和気藹々と、その後講演会で学ぶという欲張りコースです。今年のシリア情勢についての講演会には一般の参加者も多数ありました。この形にしてから出席者が増え、顔を合わせるといことが、活動の原点であることを感じます。また年2回の見学会は、身近な所の再発見と懇親を心がけています。9月には東京農大を見学しました。恒例の年末のフラワーアレンジメント講習会は、心弾む時間です。二つ目は奨学事業です。チャレンジ奨学金は、就労の後、大学で学ぶ女子3年生に限定したもので、毎年意欲的な応募者があります。国際奨学金は、発展途上国の大学生を対象に卒業するまで支給し、社会のために役立ちたいという未来の女性リーダーを応援しています。三つ目はサークル活動です。20年前に始めた源氏物語を読む会は、現在も再読クラス、初心者クラスとして続いています。水墨画教室も盛況です。サークル活動を機に入会する人もあり、会員獲得にも一役かっています。いずれも講師は会員が務めています。

その他昨年は終戦70年を機に、『昭和二十年八月十五日あの頃わたしは』という寄稿文集を発行しました。先輩たちの中には必ずしも体調万全でない中、力を振り絞って書いてくださいました。9月にご逝去された五十嵐康子会員の「風船爆弾」の話は私たちの心に生き続けることでしょう。他支部や他団体からの激励には感謝が尽きません。

東京支部はベテランの中山正子支部長他多彩な9人の委員で、本部のお手伝いもしながら、支部の活性化を目指して頑張っています。会報「ともしび」も自慢の一つです。



2016.9 東京農大博物館前にて

### 魅力を発信

福井支部長 西川 清美

Q 最近の支部の活動は？

A 定例会、公開講座、郷土の歴史や観光地探索、子育てアンケート調査等を行っています。今回の公開講座では「今からできるよ 爽やかコミュニケーション」をテーマにフリーアナウンサーの方から、行動、表情、言葉の視点からお話いただきました。話を聞く位置(45度の角度)や首や手の動きの添え方、口角を上げるやり方などを笑顔いっぱい学習しました。すぐにできることばかりで、外部から参加の方にも好評でした。郷土の探索では、新規に開所した「芦原青年の家」で、研修会と施設見学を行いました。北潟湖を見下ろせる絶景地にあり、カヌー、魚釣り、グラススキー等の体験もできます。宿泊なしの施設利用や家族3人以上から宿泊もできる特徴があります。「藤野巖九郎記念館」では魯迅の師といわれる藤野先生と魯迅との国境を越えた師弟関係に思いを馳せました。

Q ご当地自慢・支部自慢は？

A 福井県は日本総合研究所が発表した「幸福度ランキング2016版」において、前回に続き、総合1位になりました。冬の越前ガニが有名ですが、カレイ、甘エビなど年中お魚がおいしいです。恐竜を中心とした国内最大級の地質、古生物学博物館として、2000年に福井県立恐竜博物館が開館し、2014年には発掘現場一帯を展示として利用し、自らも発掘体験ができる野外恐竜博物館が日本で初めて開館しています。「一乗谷朝倉遺跡」は城下町全体が良好に遺存している全国でも稀有な戦国城下町遺跡で、くらしぶりをうかがわせる膨大な資料が出土しています。

Q これから力をいれたいことは？

A 会員の知恵を結集して、新たな広報活動を工夫しなければと考えています。そして、JAUWや福井支部の魅力を発信しながら、会員を増やしていきたいと思っています。



2016.10 芦原青年の家にて

祝賀会風景



・上段左からⅠ部来賓西村篤子氏・大矢根綾子会員・Ⅱ部来賓武川恵子氏・矢口有乃氏・名取はにわ氏・中村前会長  
 ・下段左から在籍40年仲よし3人・乾杯！・お母様のお仲間と西村氏・香港大学女性協会 Woo 会長から記念品

祝：40年以上在籍の会員のみなさま

(2016年9月20日現在・敬称略)

**在籍70年以上** (京都支部) 西 芳子

**在籍60年以上** (秋田支部) 橋本 澄子 (新潟支部) 小林 美代子 (栃木支部) 遠藤 ミサ (東京支部) 江尻 美穂子、島 美喜子、竹中 はる子、中村 道子 (神奈川支部) 守山 泰 (愛知支部) 浅野 美恵子、三宅 千代 (福岡支部) 秋枝 薫子

**在籍50年以上** (秋田支部) 金野 和子、小泉 環子 (仙台支部) 島原 洋子 (新潟支部) 宮山 彌生 (茨城支部) 静間 敏子 (栃木支部) 河村 正子 (群馬支部) 伊藤 富美子 (東京支部) 平木 典子、平川 敦子、安 咸子、宮島 茂子、山口 晃子、(静岡支部) 大石 温子 (愛知支部) 河合 憲子、林 恭子 (京都支部) 亀田 和代、早石 多喜子 (奈良支部) 橋本 慶子、藤田 玲子、児島 捷子、疋田 洋子、梁瀬 度子 (大阪支部) 北村 美佐子 (神戸支部) 山本 道子、山本 礼子

**在籍40年以上** (札幌支部) 小野 聖子、佐々木 幸、出口 好子、野田 豊子 (秋田支部) 加藤 萩枝、川口 百合子 (仙台支部) 愛知 絢子、飯岡 絹子、菊池 昌枝、(新潟支部) 田中 和子、北村 美江、川上 浩子、関 妙子、長谷川 道子 (茨城支部) 藤田 知枝 (栃木支部) 増渕 民子 (群馬支部) 黒田 とめ子 (長野支部) 落合 澄子 (東京支部) 青木 怜子、五十嵐 康子、井口 美登利、鈴木 行子、時枝 裕子、石 沢 ふさ、岩佐 政子、宇都 栄子、奥津 成子、小池 朋子、後藤 英子、後藤 祥子、白井 洋子、武田 千枝子、立石 峯子、辻 英子、富樫 絢子、波多野 知子、丸山 庸子、三木 妙子、村岡 全子、八木 江里、山本 和代 (神奈川支部) 田中 正子 (愛知支部) 泉 ひさ、鈴木 麗子 (京都支部) 松尾 景子、伊藤 洋子、田中 ひな子、田中 泰子、中島 伸江、中村 泰子、大久保 美加子、橋本 吉恵、山崎 京子 (奈良支部) 武久 文代、中川 早苗、水上 戴子、関川 千尋、田川 美恵子 (大阪支部) 小浦方 新子、下川 勢津子、堀内 芳子、松島 律子、江幡 淳子、藤井 和子 (神戸支部) 上田 久子、大谷 多美子、大林 冷子、森脇 洋子 (岡山支部) 岩城 登美子、高田 武子、村岡 知子 (広島支部) 中村 慶子、檜山 洋子、山手 万知子 (熊本支部) 出井 やスコ (福岡支部) 西原 そめ子、船津桂江、和栗方子

※お名前が抜けている方は事務所までお申し出ください。次号に掲載させていただきます。

創立とともに一  
京都支部 西 芳子会員

当会の創立1946年  
以来70年間の会員で  
す。現在95歳で脚は  
少々ご不自由ですが  
例会にはいつもお元  
気に出席されていま  
す。京都支部では長  
年に亘りご活躍にな  
り、国際会議にも  
度々参加されました。折にふれて会の  
歴史や豊富なご経験を話して下さいま  
す。今後益々お元気で後輩へのご指導  
を願っています。(京都支部)



追悼・五十嵐康子さん

東京支部 加藤 恭子

数えれば36年前、私は JAUW に入会し東京支部の委員になりそして五十嵐さんにお会いしました。家も近く年齢も1歳違い、戦争をはさんでの生活体験も共通でした。

共に財務委員長をお引き受けし、バザー、バス旅行、観劇などを企画して JAUW の寄付金を作る仕事は、やりがいがあり楽しくもありました。ある時五十嵐さんは当時の国際第二委員会委員長の依頼を受けました。この委員会はその後組織や委員会名が変り現在の女性エンパワーメント委員会に当たります。寄付金作りとはおよそ違う委員会活動にたいそう悩んだ末引き受けられると、いろいろ勉強され JAUW 内だけでなく他の女性団体へも活躍の場を広げられました。これは私にとって驚きでありお見事な変身でした。

又 文部科学省より社会教育功労者として表彰されました。昨年2月末入院しているとの連絡をうけ病院へ何うと「まだはつきりはしていないけれど白血病らしい」と聞かされました。定期的に入院され治療を受け、お元気そうにお見受けされたのですが、誠に残念なことに去る9月29日88才で永眠されました。そしてキリスト教によるお別れの礼拝が行われました。心よりご冥福をお祈りいたします。  
 蘭の香や別れも言わず逝きし友よ 恭子

## 文楽を楽しむ

収益事業委員会 齊藤 智恵



現在「文楽」と呼ばれている人形浄瑠璃は、18世紀末頃に操り人形と三味線、義太夫節が結びつき、近松門左衛門他、数多の優れた作者に恵まれ、大阪で現在の形となった世界の中でも傑出した劇構造、芸術性を持つ人形劇である。

義太夫節は太夫が太棹と

呼ばれる響きの深い三味線と共に、声をさまざまに使い分け、表情豊かに語る様は見事なもの。文楽の人形は、頭と右手を遣う主遣い、左手を遣う左遣いと足を動かす足遣いの三人が一つの人形を巧みに操る。生身の人間とは一味違った演技で、義太夫、三味線と呼吸をぴたりと合わせてドラマを展開させ、観客を魅了する。初めは気になる主遣いや黒子の左遣いの存在を何時の間にか忘れ、人形が作り出す世界に次第に引き込まれていく。

9月は国立劇場開場50周年記念の演目で平家物語を基にした「一谷嫩軍記（いちのたにふたばぐんき）」第一部を鑑賞。源氏に敗れ逃れる若武者を追いつめてみれば、我が子小太郎と同じ年頃の平敦盛、心ならずも討たざるを得ない熊谷直実の苦しみ、世の無常を感じさせられる場面であった。

## 資格取得は女性の自立につながるか

新規事業委員会 松本由美子

9月10日（土）日本女子会館で、パネルディスカッション「資格取得は女性の自立につながるか」を開催しました。司法書士守田美和子さんは43歳で資格を取り、自宅2階に事務所を持ち、自分の生活スタイルに合わせた仕事ができるのがよいとのこと。社会保険労務士川田志津子さんは、通信教育で資格を取り、事務所を経営しています。女性活躍推進法の下、女性経営者や管理職が増えることが予測され、その労務管理に役に立つことができると言います。ファイナンシャルプランナーの松村和子理事は、不動産会社を営む傍ら資格を生かしています。金融関係の仕事をする女性にとって、この資格は有利と見ています。消費生

活専門相談員の松本由美子委員長は、かつて消費生活センターで相談員をしていた経験から、今後はこの分野はより専門化が進むことや今年から国家資格になったことで、有用であると話しました。会場からJAUWとして女性の仕事や資格取得に繋がる支援に繋げてほしいとの意見も出ました。



## 横浜ランチクルーズ

収益事業委員会 松崎 和子

10月も目の前だというのに真夏の暑さの中、みなとみらい線「日本大通り」駅に36名が集合しました。駅から続く、幅36メートルの日本初西洋式街路「日本大通」を、銀杏をよけながら港を目指しました。横浜三塔の内、キングの塔（県庁）、ジャックの塔（開港記念会館）が見えました。

大さん橋に横付けされたクルーズ船ロイヤルウイングに乗り込みました。ドツドツとエンジン音で出航です。「みなとみらいの新しい街並み」「横浜の古い街並み」「ベイブリッジ」と船は進みます。窓からの景色を見ながら先ずはbuffeスタイルのご馳走をいただきました。ピアノの生演奏もありました。

3階と最上階のサンデッキの海風はオイルのにおいがしました。見上げればベイブリッジの展望台、遠く見やれば

アメリカ軍の湾岸ドック。船からならではの眺めでした。

下船後に記念撮影をいたしました。参加者の内25名の皆様は会員外の方でした。お友達や教え子の皆様をお誘いくださった会員の皆様ありがとうございました。これからも皆様に楽しんでいただけるような企画を提案してまいります。皆様のご参加を心からお待ちしております。



JAUW 新春のつどい

今年度も、恒例の「JAUW 新春のつどい」を下記のように開催いたします。国内奨学金贈呈式は、大学女性協会の大切な公益事業の一つです。将来女性のリーダーとして活躍すべく、希望と意欲あふれるスピーチは私たちに感動を与えてくれます。今年度の懇親会には、日本舞踊西川流（宗家）西川扇矢さんによる、新春に相応しい舞をお楽しみいただけます。会員の皆さま、会員以外の方々をお誘いの上、多数のご参加をお待ちいたしております。

日時 2017年1月7日（土）11：00～14：30  
場所 新宿 京王プラザホテル 南館4F 「錦の間」  
新宿区西新宿2-2-1 03-3344-0111（代表）

プログラム

- 1部 2016年度 国内奨学金贈呈式
- 2部 懇親会  
日本舞踊 西川流（宗家）西川扇矢  
会食、懇談

会費 10,000円  
申込先 (一社) 大学女性協会 本部事務局  
Tel：03-3358-2882 Fax：03-3358-2889  
E-mail：jauw@jauw.org

申込締切 2016年12月20日  
振込締切 2016年12月28日  
振込先 三菱東京 UFJ 銀行四谷支店  
普通預金：口座番号1077777  
別口 一般社団法人 大学女性協会  
理事 中村久瑠美

尚、キャンセルは3日前までとさせていただきます。

※今回も収益事業委員会のバザーを致します。ご協力をお願いします。

第15回 自然科学講演会のお知らせ

「エマージングウイルス感染症：現状と科学の最先端」  
講師 甲斐知恵子会員（科学研究奨励委員会委員）  
東京大学医科学研究所教授、日本学術会議会員  
日時 12月17日（土）15：00～17：00  
場所 お茶の水女子大学理学部3号館7階大講義室  
申し込み 12月14日（水）までに JAUW 事務局へ

エマージング感染症である西アフリカのエボラ出血熱の大流行は世界を震撼させました。他にも SARS やジカ熱など未知の病原体が、近年次々と出現し人類の脅威となっています。この感染症の現状を概説するとともに、どうして出現してくるのか等根本的謎に迫る基礎的研究や防御法開発研究などの科学の最先端を紹介し、人はずどのように闘いあるいは共存していくのかを共に考えるお話しです。

科学研究奨励委員会（東京支部・お茶の水女子大学共催）

**丸大食品**




「丸大のギフトは、どなたにも喜ばれます。」  
お歳暮・お中元の時期のほか、記念品・新築祝・開店祝  
御礼・内祝・快気祝・各種景品等ご利用下さい。

**丸大食品株式会社 東日本特販営業課 担当：山崎**  
〒135-0051 東京都江東区枝川2-23-2  
TEL03(3647)3270 FAX03(3647)3274

2016年度国際奨学生来日

インドからの奨学生ヒマニ ノーティヤルさんは9月8日に京都大学霊長類研究所に到着し研究を開始しました。国際奨学委員会から廣田、岩村両委員と伴紀子愛知支部長で10日（土）に研究所を訪問して1回目の奨学金を贈与いたしました。



ノーティヤルさん

ウズベキスタンからの奨学生ツルディエヴァ



フルカーさん

フルカーさんは9月16日に来日、筑波大学での研究を開始しています。1回目の奨学金の贈与は9月21日にJAUW事務所で奨学委員4名と新婚のご主人、同郷の友人2名の立ち合いのもとにおこなわれました。

奨学生の研究成果報告会は2017年2月25日に開催いたします。ご期待下さい。

お知らせ 収益事業委員会

\*催し物

「Xmas の代官山 散策とランチ」  
日時：12月21日

\*観劇

- ・歌舞伎 通し狂言「しらぬい譚（ものがたり）」 国立大劇場  
日時：2017年1月23日（月） 12：00開演
- ・雅楽「還城楽物語」 東京オペラシティホール  
日時：2017年1月14日（土） 13：30開演
- ・能・狂言：「葵上、他」 国立能楽堂  
日時：2017年2月11日（日、祝） 13：00開演  
申込締切：12月20日
- ・文楽：「近松作品と文楽名作品」 国立小劇場  
日時：2017年2月19日 演目は近日発表
- ・歌舞伎「伊賀越道中双六」 国立大劇場  
日時：2017年3月12日（日） 12：00開演  
申込締切：2017年1月25日

☆詳細は観劇のお知らせ、JAUW 事務局または、HP で。

新入会員 理事会承認 2016年7月～10月

新潟支部	吉田 広子	静岡支部	佐久間 恵
茨城支部	鈴木 偕子	神戸支部	加藤 教子
東京支部	伊集院葉子	岡山支部	赤松 康子
	建部 静代		木口 京子
神奈川支部	菅原 洋子		中原香代子

理事会から

- ▶ 不測の事態により9月に会長が交代しましたが、口座の代表者名は前会長名のままでお願いします。
- ▶ 創立70周年記念募金が11月12日から始まりました。皆様のご理解とご協力、ご支援をお願いいたします。
- ▶ 今年も丸大食品のカatalogを同封いたします。皆様のご協力をお願いいたします。

一般社団法人 大学女性協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6-101

電話 03-3358-2882 FAX 03-3358-2889  
http://www.jauw.org E-mail:jauw@jauw.org  
発行人 鷲見 八重子 編集責任者 穂田 信子  
発行日 2016年11月28日